

ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

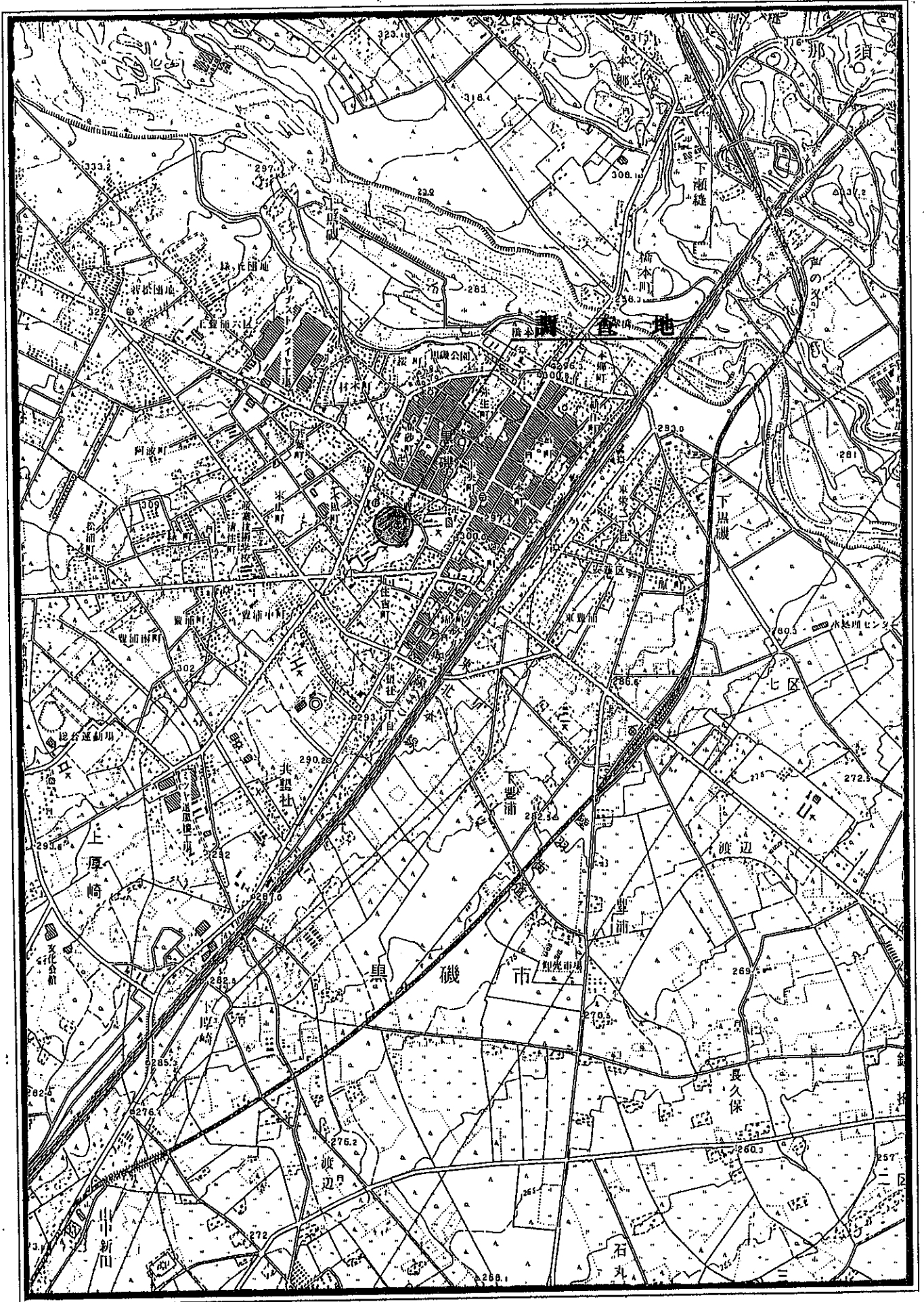
地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご利用ください。

栃木県土木部建築課

調査位置図

縮尺 1:25000



報告用紙

土質柱状図

(12BM=100.000m)

調査名 黒磯高校 情報館新築工事地質調査
 黒磯市豊町 6-1
 ボーリング孔: No. 2

調査年月日 昭和 62年 6月 26日 ~ 62年 6月 27日
 調査担当者

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	現場観察記録		深さ m	打撃回数 / 貫入量 cm	標準貫入試験			試験採取
				土質記号	土質名			色調	記事	10cmごとの打撃回数	
								10 cm	20 cm	30 cm	試験採取
1	150 138 130	1.50 1.38 1.30		盛土	盛土	1.15 1.25	1 30	1 30			採取方法
2			○ ○	砂	暗灰色	1.15 1.31	50 70	33 6		50	
3			○ ○ ○ ○	砂	暗灰色	1.15 1.25	50 70	35 2		50	
4			○ ○	砂	暗灰色	1.15 1.25	50 70	38 3		50	

試験採取方法の記号

備考:

● シンウォールサンプラー ○ 貫入試験用サンプラー × その他

報告用紙

土質柱状状函

調査名 黒磯高校体育館新築工事地質調査
 標高 GH: 99.958 m 調査年月日 62年 6月 22日 ~ 62年 6月 26日
 ボーリング孔: No. 3 孔内水位 16.7 m 調査担当者

(15B.M=100,000%)

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	現場観察記録		標準貫入試験				試料採取					
				土質記号	土質名	色調	記事	深さ m	打撃回数 / 貫入量 cm	10cmごとの打撃回数	N	値	試料番号	採取方法	
1					盛土	黒褐色	径 200 ~ 2150% 位の 石英混入。	2.25	20	1	2				
2		1.25	1.25	00	砂	暗灰色	17m 附近より 20cm 厚の 礫径 200 ~ 500% 位の 砂 (多い)。 3.0 ~ 3.8m 間 正石径 250 ~ 1000% 混在 全体が 粗く 崩れ易い。	2.25	10	12	20				
3				00				3.0	80	10					
4		2.00		00				1.2	18	18					
5				00				2.25	18	18					
6															
7															
8															
9															
10															
11															

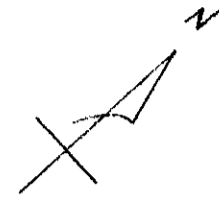
試料採取方法の記号

備考:

● シンウォールサンプラー ○ 貫入試験用サンプラー × その他

黑磯高校体育館新築工事
地質調査業務

黒磯市豊町 6-1



Scale = 1:600

